

【第19回】美しい映像を楽しむためのケーブル選び



◆サンワダイレクト！メールマガジン◆

◇2014.11.12◇

<https://direct.sanwa.co.jp/>

こんばんは。サンワダイレクトの佐々木です。

【第19回】は、「映像ケーブル」特集！

美しい映像を楽しむには、使用する機器に合ったケーブルを用いて
最良の接続方法を選ぶことが重要です。

端子の規格による特長・違いを、接続したい機器別でご紹介いたします。

それではどうぞ。

◆ 前回のメルマガ 液晶保護フィルムの選び方と貼り方のまとめ

【人気なのは4種類】

・反射防止タイプ

→屋外でも画面が見やすく、指紋の跡が目立ちにくい。

・光沢タイプ

→高い透明度でフィルムが目立たない。色鮮やかな映像を楽しめる！

・ブルーライトカットタイプ

→眼精疲労を軽減。目の健康を守る。

・ガラスフィルム

→強度の高いガラスが画面をガッチリ保護！

【貼り方】

フィルムを貼る機器のヨゴレ・ホコリを落とし、ホコリが舞わない程度に湿度を上げたお風呂場で、位置に気を付けながら貼ります。

入ってしまったホコリはセロハンテープで取り除き、画面の中心から外側へ気泡を押し出せば完成！

以上が、前回のまとめです。

メルマガのバックナンバーが下記でご覧いただけます！

https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/backno/mail_onayami.html

◆ 第1章 AV機器やゲーム機をテレビに接続したい！

● 頭文字の「D」の意味は…？

【HDMIケーブル】

薄型TVと共に普及し、今日では最も一般的に使われているケーブルです。音声と映像を同時に伝送できるため機器との接続がケーブル1本だけ！接続がとてもカンタンです。

ゲーム機やBDレコーダーの接続にイチオシのお買い得品！

<https://direct.sanwa.co.jp/ItemPage/500-HDMI001-1>

その他HDMIケーブルはこちら

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/hdmi.html>

【コンポジット端子ケーブル】

黄色いプラグの映像ケーブルです。

映像信号を構成する同期・輝度・色信号の3つをまとめて伝送します。接続が容易ですが画質では最も劣ります。

【S端子ケーブル】

色差信号と輝度信号を分離して伝送します。
コンポジットよりも明るく鮮明な映像を得られます。
頭文字の「S」はセパレート (Separate) の「S」です。

S端子ケーブルはこちら

[https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?
disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#07](https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#07)

【コンポーネント端子ケーブル】

映像信号を色・輝度・同期信号に分離。
緑・青・赤の3本のケーブルで伝送し、高精細な映像を映し出します。
フルHDの映像にも対応しています。

コンポーネント端子ケーブルはこちら

[https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?
disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#06](https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#06)

【D端子ケーブル】

コンポーネント端子のケーブルを一本にまとめて利便性を高めたものです。
信号の伝送方法としてはコンポーネント端子と同じなので画質は同等です。
しかし、接点のピンが小さい影響で画質がわずかに劣るとも言われます。

また、その名称から「デジタル接続」であると誤解される場合も
ありますが、実は「アナログ接続」です。

D端子の「D」はデジタル (Digital) の「D」ではなく、
コネクタの形状が「D」の形に見えるので、この名称になっています。

D端子ケーブルはこちら

[https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?
disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#04](https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/index.html?disp_no=001007012&refdisp_no=001007008006#04)

まとめると…。

【右に行くほど高画質！】

コンポジット→S端子→D端子=コンポーネント端子→HDMI

◆ 第2章 パソコンをモニターやプロジェクターに接続したい！

【ミニD-sub 15pinケーブル】

「VGAケーブル」「アナログRGBケーブル」とも呼ばれます。
主に古いパソコンやプロジェクターで使われます。

ミニD-sub 15pinケーブルはこちら

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/dispcbl/vga.html#slim>

【DVIケーブル】

高解像度の映像を劣化の少ないデジタル信号で伝送します。
対応する信号の違いでケーブルに種類があります。

- ・ デジタル専用の「DVI-D」
- ・ デジタルとアナログ信号も扱える「DVI-I」

さらに、対応する解像度でも種類があります。

- ・ WUXGA（1920×1200）まで対応する「シングルリンク」タイプ
- ・ それ以上の高解像度の表示に対応する「デュアルリンク」タイプ

以上があります。

お使いのディスプレイの解像度や仕様に合わせてお選びください。

DVIケーブルはこちら

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/dispcbl/dvi.html>

【Display Portケーブル】

DVIの後継の位置づけです。
コネクタが小型化され、より高解像度の映像をサポートします。
高性能なグラフィックボードを用いてマルチディスプレイ環境を構築する場合に使うことが多いです。

DisplayPortケーブルはこちらで販売中！

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/dispcbl/displayport.html>

◆ 第3章 スマホ・タブレットの映像をテレビに映したい！

- アダプターを使えば、スマホの写真やビデオをテレビで楽しめる♪

【MHLに対応するスマホからの映像出力にはコレ！】

MHLアダプター

<https://direct.sanwa.co.jp/ItemPage/500-HDMI008MH>

【Nexus 5、Nexus 7（2013年モデル）にはコレ！】

SlimPort-HDMI変換アダプター

<https://direct.sanwa.co.jp/ItemPage/AD-HD14SP>

【iPhone・iPadの映像を出力するにはコレ！】

Apple純正の「Lightning-Digital AVアダプター」等をご利用ください。

◆ 第4章 端子の規格が合わない時のお助けアイテム

- 変換アダプターが便利！

「新品のディスプレイに、HDMI端子しか無い！」

「新しいパソコンと古いプロジェクターを接続できない！」

そんな悩みはありませんか？

変換アダプターを使うと解決できます。

ミニD-sub 15pinをHDMIに変換するアダプター

<https://direct.sanwa.co.jp/ItemPage/VGA-CVHD2>

HDMIをミニD-sub15pinに変換するアダプター。（HDCP対応）

<https://direct.sanwa.co.jp/ItemPage/VGA-CVHD1>

その他にも、手持ちのケーブルを有効に使える変換アダプターがあります。

HDMI変換アダプターはこちら

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/avcable/hdmi.html#06>

DVI・D-sub15pin変換アダプターはこちら

<https://direct.sanwa.co.jp/contents/sp/dispcbl/adapter.html>

◆ 第5章 最後に

いかがでしたでしょうか。

今回は、「映像ケーブル」についてのご紹介でした。

ご購入前の相談も承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

«お電話でのお問い合わせ»

TEL 086-223-5680

受付時間：平日9時～18時（土・日・祝日を除く）

お問い合わせフォーム

<https://direct.sanwa.co.jp/inquiry/index.jsp?FN=productPR&Or=no>

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

それでは、また次回お会いしましょう！

◆ メルマガ購読の解除

ダイレクト会員の方は、ログイン後、MYページより変更してください。

メルマガ会員の方は、次のURLより手続きをお願いいたします。

⇒ <https://direct.sanwa.co.jp/common/CSDMailMagazineTop.jsp>

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

発行元：サンワサプライ株式会社「サンワダイレクト」

URL： <https://direct.sanwa.co.jp>

e-mail： direct@sanwa.co.jp